

# A市における協働実践(母子保健事業)における、 「母親(参加者)が抱えていた不安や悩み」と「母親(参加者)が講話を通じて得たもの」

## -母親が抱えていた不安や悩み-

- 食・飲料水の選択
- 子どもと家族の健康管理
- 子どもの外遊び(外気浴・砂遊び等)
- 何となく聞きづらい

- 水道水、井戸水は飲んでも大丈夫か
- 食べ物からどの程度放射線物質が母乳に出るのか
- 水道水よりペットボトルの方がよいのではないのか
- 水道水は食材を茹でたり、炊飯、食器洗いに使用している
- A市のものを食べても大丈夫か
- 食品は検査がされているのでむしろ安心している
- スーパーに売っている野菜、米、魚は大丈夫か
- 高い線量が出たと言われた食品は食べないようにする
- 家庭菜園で収穫したものは大丈夫か
- 山の山菜(アブラメ、ふきのとう、タケノコ)は大丈夫か
- 震災後生まれた赤ちゃんへの影響は何か
- 甲状腺検査でしこりやのう胞があると言われた子どもがいるが、事故と関係があるのか
- 甲状腺がんと因果関係ははっきりするのはどれぐらい後なのか
- 放射性物質はどこへ行くのか
- 砂遊びは大丈夫か
- 幼稚園の砂場にカバーがかけてあるが、危ないのか
- 学校や公園の除染は進んでいるが自宅は何もしていない。雨どいなどが心配
- ホットスポットは気にしなくてよいのか
- 除染していない庭で子どもが遊んでいるが少し心配



## -母親が講話を通じて得たもの(感想)-

- 放射線の話聞いてよかった
- 話題にしないようにしていた放射線について胸の内を共有できてよかった
- ずっと抱えていた漠然とした不安が軽くなり、安心できた
- 普通の生活をしていなかったことに気づいた
- 現在の生活について安心がもてた

- 今更聞きづらいことが聞けた
- 日ごろ聞けない情報を聞くことができて、ためになった
- 話を聞いて安心した
- 水道水を飲んでよいことがわかった
- そうなんだ、普通に生活していいんだ
- 通常の生活で問題ないことがわかって安心した
- ペットボトルを買っていたのは何だったんだろう
- 家庭菜園を始めてよいとわかった
- 刺身は食べてよいとわかってよかった
- 水道水が安全と聞いて安心した
- 何となく水道水を使っていなかったけど、使って大丈夫とわかった
- 水道、食べ物のことを聞けたのがよかった。少し考えを和らげることができた
- 外で洗濯物を干していいのかなと思っていましたが、大丈夫と分かり安心した
- 何となくの不安がすっきりした
- 目に見えない不安に毎日悩まされていたので少し不安が軽くなった
- 一人で悩んでいたことを皆さんに聞いてとてもよかった
- 悩んでいることが同じ内容なので安心した
- お互いに話ができてよかった
- 夫や近所の人にも話してみる